

「湖のカルナヴァル」は、音楽祭の本番が始まる前から大騒ぎ。11月19日(土)の本番当日を前に、障害のある人のダンスや演奏の魅力をたっぷりお届けするために、本音楽祭に出演するワークショップグループの活動を大公開。音楽祭では味わいきれないパフォーマーの魅力に迫る!

甲賀ワークショップグループ

会場:サンヒルズ甲西(湖南市)
日時:10月7日(金)13:00-14:00

湖東ワークショップグループ

会場:豊栄のさと 文化ホール(犬上郡)
日時:10月22日(土)13:30-14:30

大津ワークショップグループ

会場:大津市民会館 小ホール(大津市)
日時:10月27日(木)18:30-19:30

公開ワークショップ

参加者
募集中!

湖南ワークショップグループ

会場:コミュニティセンターなかさと(野洲市)
日時:11月12日(土)13:30-15:30

湖西ワークショップグループ

日時:11月17日(木) ※時間・会場未定。
参加をご検討の方は、下記ご連絡先までお問い合わせください

全日程要予約・入場料無料。公開ワークショップへの参加をご希望の方は、社会福祉法人グロー(GLOW)～生きることが光になる～法人本部企画事業部(TEL:0748-46-8100)までお問い合わせください。

糸賀一雄記念賞 第十五回 音楽祭

糸賀一雄記念賞について

公益財団法人糸賀一雄記念財団では、障害福祉の発展に尽力された糸賀一雄氏の心を受け継ぎ、障害福祉の分野で顕著な活躍をされている方に対し、「糸賀一雄記念賞」および「糸賀一雄記念未来賞」を授与してこられました。本音楽祭は、受賞者をお祝いすることを目的に開催しています。



近江学園が創立70周年を迎えました!

糸賀一雄氏らによって創立された近江学園が、今年70周年を迎えます。「この子らを世の光に」と人々に語りかけた糸賀氏の思いは時を超え、本音楽祭に出演する近江学園ワークショップグループに、さらにはこの音楽祭全体に受け継がれています。



会場アクセス

滋賀県栗東市 栗東芸術文化会館 さくら
〒520-3031 滋賀県栗東市糺二丁目1番28号
TEL:077-551-1455 FAX:077-551-2272
<http://www.sakira-ritto.net/>
JR琵琶湖線「栗東駅」東口より約400m
(大阪から約60分、京都から約25分)
名神高速道路「栗東IC」より約3km ※駐車場あり(有料)

チケットお申し込み

●糸賀一雄記念賞第十五回音楽祭実行委員会事務局社会福祉法人グロー(GLOW)～生きることが光になる～法人本部企画事業部
電話:0748-46-8100(10:00～17:00土・日・祝休)

チケット取り扱い場所

●ボードレス・アートミュージアムNO-MA 電話:0748-36-5018
(11:00～17:00月曜休館 月曜が祝日の場合は、その翌日)
●栗東芸術文化会館さくら 電話:077-551-1455
(9:00～22:00月曜休館 月曜が祝日の場合は開館)

2016
11/19

THE 15TH MUSIC FESTIVAL OF KAZUO ITOGA MEMORIAL AWARD

**糸賀一雄
記念賞**

第十五回 音楽祭



2016年11月19日(土) 【開場】13:30 【開演】14:00

会場: 栗東芸術文化会館さくら 大ホール

前売り券 ● 一般 1,350円、障害者・シルバー・学生 900円、中高生 450円
当日券 ● 一般 1,500円、障害者・シルバー・学生 1,000円、中高生 500円
※全席自由席、小学生以下は無料、シルバーは65歳以上 ※20名以上は団体割引(各料金から50円引き)

▶主催:社会福祉法人グロー(GLOW)～生きることが光になる～
糸賀一雄記念賞第十五回音楽祭実行委員会
▶共催:栗東芸術文化会館さくら
▶後援:滋賀県 滋賀県教育委員会
栗東市 栗東市教育委員会

お問い合わせ ● 糸賀一雄記念賞第十五回音楽祭実行委員会事務局 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦4837番地の2
社会福祉法人グロー(GLOW)～生きることが光になる～法人本部企画事業部内 TEL:0748-46-8100 FAX:0748-46-8228
Twitter @artbrut_live facebook <https://www.facebook.com/artbrutlive> ブログURL <http://stage.art-brut.jp/>



平成28年度文化庁 アーティスト・イン・レジデンス活動支援事業
Supported By Agency of Cultural Affairs Government of Japan in the fiscal 2016



さきらジュニアオーケストラ



湖西ワークショップグループ

第 十 五 回 糸 賀 一 雄 記 念 音 楽 祭 賞

「この舞台の上で、なにが起きているのだろうか？」
障害のある人たちによる圧倒的なパフォーマンス。そのパワーに共鳴するプロの音楽家やダンサー。さらには、障害のある出演者の日常に寄り添う支援者が表現者として同じ舞台上がり、みんなで踊り、歌う。気づけばボーダーは取り払われ、ステージの上で、それぞれが唯一無二の役割を演じ、創り上げていくこの音楽祭は、どんな人の中にもあるはずの、“表現することのよろこび”を思い出させてくれる。今回のテーマは、カルナヴァル。英語でいえば、カーニバルだ。障害のあるパフォーマー、プロのミュージシャン、またはフランスの文化都市ナントからのゲストアーティスト、さらには地元の方々の参画もあり、多様な人々が響き合い、喜びが躍動する音楽と踊りの一日。湖国・滋賀で、熱い「湖のカルナヴァル」が湖水を渡ってやってくる。



甲賀ワークショップグループ

フランス・ナントより、湖のカルナヴァル参加

ゲスト・アーティスト：クロード・ブリュマション (Claude Brumachon)



ダンサー・振付家、フランス国立振付家センター・ナント前ディレクター
世界を代表する文化都市ナントとは、第10回音楽祭を共同制作するなど、文化交流を継続してきた。今年の音楽祭では、同市よりクロード・ブリュマション氏を招き、新たなパフォーマンスを展開。



近江学園ワークショップグループ



湖東ワークショップグループ

近江学園ワークショップグループ Produced By 中路 友恵

それぞれの思い出を携えて子どもたちは今日にたどり着く。子どもたちはいつも一途だ。1プラス1は50にも100にも。近江学園の子どもたちのエネルギーに、プロの打楽器奏者たちのスペシャルアンサンブルが共振する。

大津ワークショップグループ

Produced By 清水 美紀・サポーター 改發 麻衣

響け響け大津！音楽も宙に舞うけど、ドラムスティックも宙に舞うかも。爆発的で予測不能なこの自由なアンサンブル。楽しまないわけにはいかない。

甲賀ワークショップグループ

Produced By 林 美紀・サポーター 林 ゆかり

歌う、弾く、叩く、甲賀サウンド。甲賀のバンドメンバーの結束と、シンガーたちとの信頼はどこから生まれてくるのだろうか。林美紀プロデューサーは座付きピアニストとしてバンドに寄り添い、ソロシンガーたちは、みんなスーパースターだ。

湖西ワークショップグループ Produced By 林 美紀

総勢70名を超えるメンバー、一つ一つの声やがて大きな流れとなって大河になる。今回は、林美紀プロデューサーはバリトンサクソ、フルート奏者の吉田隆一とダンサー野田まどかとのコラボを導入。

湖東ワークショップグループ

Produced By 清水 美紀・サポーター 島田 真理

だれから聞かされた物語か。一人一人がいつか聴いたそれぞれの物語は、それぞれの楽器に語り継がれ、今、舞台の上で物語はさらに紡ぎ直され、蘇って綴れ錦になる。

湖南ワークショップグループ

Produced By 北村 成美 サポーター 片岡 左知子、鈴木 杏子

あたかも卵たちが成魚に変わっていくように、群れとしてのパフォーマンスから孤のパフォーマンスへの胎動が始まっている湖南。プロローグは、「えいちゃん」こと後村英治とえいちゃんを尊敬する谷川賢作のデュオ？

さきらジュニアオーケストラ

栗東芸術文化会館さきらを中心に活動し、これまで、第七回、第八回、第十三回、第十四回の音楽祭でパフォーマンスを披露した「わがまちのオーケストラ」によるあたたかなシンフォニーの贈り物。



大津ワークショップグループ

ゲストアーティスト

高良 久美子 パーカッション

東京芸術大学器楽科卒業後、吹奏楽、ミュージカル等の活動を始め、坂田明、大友良英、ヤドランカなど様々なジャンルのミュージシャンのレコーディングやツアーに参加。「オルケスタ・リブレ」などのバンド活動の他、こんにやく座公演での演奏や、文学座や三谷幸喜舞台作品の音楽制作を担当する。糸賀一雄記念音楽祭には5回目の出演となる。



谷川 賢作 ピアノ



演奏家として、現代詩をうたうバンド「DiVa」、ハーモニカ奏者続木力との「バリエーション」等のコンサートを全国で開催。作・編曲の仕事としての作品も多数。最新担当作「袴田巖 夢の間の世の中」(監督・金聖雄)。「88、'95、'97年に日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。福祉フォーラムである「アメニティーフォーラム」での演奏や、本音楽祭への出演など、滋賀で開催されている福祉に
関係するイベントにも積極的に出演している。
オフィシャルウェブサイト：<http://tanikawakensaku.com/>

竹田 裕美子 アコーディオン、キーボード



'72年「Early Times Strings Band」に参加。以来、小室等、白鳥英美子、加藤登紀子、伊藤多喜雄、しゅうさへこ、南正人など、多くのアーティストのステージ及びスタジオワークを幅広くサポートしている。CD「ほほえむちから」ではアコーディオン担当、「アメニティーフォーラム」への出演など、滋賀での演奏も行っている。

総合プロデューサー

小室 等 ミュージシャン

自身のコンサートを中心に活動する他、様々なジャンルのミュージシャンとのコラボレーションやイベントプロデュースも多数。テレビドラマ、ドキュメンタリー作品への音楽提供や、ナレーションなど、その活動は多岐に渡る。1980年代後半、信楽青年寮で作られた土鈴に魅了され滋賀に来訪するようになったことをきっかけに、音楽と福祉を横断する活動も継続している。'12年に開催された糸賀一雄記念賞第十一回音楽祭より、総合プロデューサーを務める。また、糸賀一雄氏生誕100年を記念して制作された「ほほえむちから」の作曲を担当した。



こむろ ゆい ヴォーカル



1999年NHK「みんなのうた」で放送された自作曲「ひとつのドア」でCDデビュー。現在はソロライブでの活動の他、父、小室等とのユニット「Lagniappe」や、「六文銭09」のメンバーとしても活動。糸賀一雄氏生誕100周年を記念して制作された「ほほえむちから」(作詞：谷川俊太郎、作曲：小室等)ではヴォーカルを務める。
オフィシャルウェブサイト：
<http://office-khys.com>

各ワークショップのプロデューサーたち

北村 成美 ダンサー



通称、なにわのコレオグラファー・しげやん。6才よりバレエを始め、英国ランペンセンターにて学ぶ。「生きる喜びと痛みを謳歌するたくましいダンス」をモットーに、ソロダンサー・振付家として国内外で精力的な活動を展開。

清水 美紀 ティンパニ・打楽器



同志社女子大学学芸学部音楽学科打楽器専攻卒業。同大学音楽学会《頌啓会》特別専修過程修了。北川皎、中谷満、山口恭範の各氏に師事。現在、関西を中心にオーケストラ、室内楽、アンサンブル、ソロなどで活動している。

中路 友恵 マリンバ



同志社女子大学学芸学部音楽学科打楽器専攻卒業。同大学音楽学会《頌啓会》特別専修課程修了。現在、マリンバ・打楽器奏者として、関西を中心に幅広いジャンルで活動中。

林 美紀 ピアノ



相愛大学音楽学部器楽学科にてピアノを専攻。多くの合唱コンサートやイベントに関わりながら、施設やデイサービスセンターで障害のある人との音楽活動を行う。

吉田 隆一 バリトンサクソ、フルート



SF+フリージャズユニット「blacksheep」を主催し、大谷能生、スガダイロー、新垣隆、西島大介らと共に文化諸相の混在を図る。アニメ、SFに造詣が深く、雑誌やミニコミ誌等に論考やレビューを発表している。第十四回糸賀一雄記念賞音楽祭に出演。
オフィシャルウェブサイト：
<http://yoshidaryuichi.com/>

野田まどか ダンサー



ミュージカルの舞台経験を経て、TMパフォーマンス・プロにて小川珠絵に師事。'07~'10 舞踏カンパニー千日前青空ダンス倶楽部に所属。近年はソロ作品を発表する傍ら、国内外の振付家の作品を踊り、障害のある人たちのダンスワークショップにも取り組む。また歌手として、アコースティックユニットa.r.mで活動中。